

第3回 G20 福岡 財務大臣・中央銀行総裁会議 推進協力委員会 会議録

日時：平成30年12月3日(月)
午前11時20分～11時45分
会場：福岡市役所 9階 庁議室

1 開会あいさつ

(福岡市 副市長 荒瀬 泰子)

- ・今年2月の開催決定から9か月が経ち、2日前の12月1日、アルゼンチンで開催されていた首脳会合において議長国が日本国に交代し、いよいよ福岡の会議も迫ってきたことを実感している。
- ・財務省では、成功に向けて体制強化を着々と進めておられ、10月には地元福岡選出の衆議院議員井上貴博先生がG20担当補佐官に任命され、大変心強く感じている。
- ・福岡市役所でも準備を加速しており、会議150日前にあたる1月9日には、博多駅前広場でのカウントダウンセレモニーや、スタートアップ支援施設 Fukuoka Growth Next を会場にしたフィンテック関係者向けのセミナーを開催するなどして、本格的に市民の皆様の機運づくりをスタートします。
- ・2月からは、未来の福岡を担う子どもたち向けに、金融に関する特別授業をはじめとした各種プログラムを展開して、会議の重要性を理解してもらおうとともに、記憶に残るような取り組みをしたいと考えている。
- ・地元一丸となって福岡を世界にアピールできるよう、そしてまちを挙げての歓迎ムードを創り出していけるよう、皆様とともに取り組んでいきたいと思っているので、どうぞよろしく願います。

2 関連事業説明

(事務局)

配布資料にて説明

＜各委員より「関連事業」説明＞

（九州経済連合会 麻生会長）

- ・いよいよ迫ってまいりました。私たちは、福岡と言う街が、魅力ある都市であることを海外に知らしめる責任があると思っている。この機会をこなすだけでなく、これからの取り組みがどう海外に伝わり連携していくか、その取り組み次第で開催後の成果というものが変わってくる。
- ・これだけ VIP やお供、マスコミが来られる会議で、様々な形で昼夜、福岡を見て、いい街だと思っただけのかが大事である。
- ・地元の小学校や中学校が料理や金融でいろいろな形でグローバルを学ぶのが G20 福岡ならではと思っている。フィンテックやビジネスを学ぶことで、将来やってみたいなと思ってもらえる機会を提供することが大事だ。
- ・会議が無事に終われば良いというものではなく、次世代にどのようにつなげるか使命感を持ちながら経済団体として取り組んで行きたい。
- ・福岡市とともに福岡の安全安心、将来性を発信する場と思っているので、九経連としてサポートし、ビジネスチャンスにつなげたいと思っている。

（福岡商工会議所 藤永会頭）

- ・150日前の記念イベントとして、来年1月9日に博多駅前広場において、福岡市と博多まちづくり推進協議会との共催で、イタリアのピザやトルコのケバブサンドなど、G20 福岡の参加国の料理を提供するお店を10店舗ほど集め、「ワールドキッチン」を開催する。併せて、カウントダウンボードの除幕式を行うことにより、市民の皆様の機運の醸成を図りたい。
- ・会場では、会議所や福岡市が導入を進めているキャッシュレスの実証実験を行う予定であり、これを機に更なる普及拡大を図りたい。
- ・2つめの「経済講演会」では、3月に日銀の福岡支店長を講師に迎えて、G20 福岡 財務大臣・中央銀行総裁会議に関するテーマで講演をいただき、地元の経済界においても G20 福岡の理解を深めるとともに、国際経済の課題や動向に関心を持っていただく機会としたい。

(九州観光推進機構 渡邊氏)

- ・おもてなしとして、海外から会議に参加する関係者向けに九州旅行に関する情報を提供するため、当機構の海外向け観光 PR サイト「旅ネット」の英語版「九州ツーリズムインフォメーション」に、外国人が気軽に九州を旅行してもらう旅行商品の紹介ページを3月頃に開設する。
- ・開設したサイトと福岡市が開設を予定している専用ホームページとリンクすることで、多くの海外関係者に見てもらい、実際に九州を旅行してもらうことで、九州観光の魅力を感じてもらい、それぞれの国で発信・紹介してもらうことにつながるように、委員のみなさまと連携していきたい。

(博多まちづくり推進協議会 松下会長)

- ・「はかた大学」において、会議の意義や重要性、会議が開催される福岡の良さ、実証実験の結果などを踏まえ、「G20 福岡とキャッシュレス」をテーマに2～3月に講座を開催したい

(福岡青年会議所 田島理事長)

- ・G20 YEA (ヤングアントレプレナーズアライアンスサミット)とは、G20参加国で組織されており、若手起業家を中心に雇用創出や経済成長等の課題に対し議論する場である。
- ・開催日時は、来年の5月16日から17日、会場はアクロス福岡を予定しており、日本開催のテーマは、「サステナビリティ(持続可能性)」という内容でSDGsに沿ったプログラムを検討している。

(福岡地域戦略推進協議会 石丸氏)

- ・会議開催150日前の1月9日にフィンテックに関するセミナーやキャッシュレスの実証実験報告会を福岡市と共催し開催する。
- ・会議開催前1週間かけて、フィンテックに関するセミナーを連日開催したいと考えている。福岡からもフィンテックに関するスタートアップ企業など多数出てきているが、その様な方々に参加していただく形でイベントを開催していく。
- ・近年、金融の分野にデジタルの概念が大きな役割を占めてきているが、企業の最高デジタルデータ責任者の方々が多数集まり、金融・フィンテックにおけるデジタルの役割を議論する国際会議が、会議開催前に実現するよう調整を行っている。

(福岡市自治協議会等7区会長会 楠下会長)

- ・第1回の委員会において、この会議が子どもたちの記憶に残り、将来世界に羽ばたくきっかけになることを期待していると発言したが、先ほど子どもや若者向けの事業が数多く企画されていると説明があり、大変うれしく思っている。
- ・また、会議終了後の会場見学についても、子どものみならず、地域住民にも会議の趣旨や意義をしっかりと理解していただく貴重な機会であると考えており、積極的に参加を呼び掛けたい。

(福岡県 武濤氏)

- ・福岡県としては、県のホームページや福岡県だよりを通じて、県民や県内在住外国人向けに、機運醸成としてG20の情報提供を行う。また、国際交流センターにおいても、情報誌にて広報を行っていく。

3 閉会あいさつ

(福岡市 副市長 荒瀬 泰子)

- ・皆様、ありがとうございました。特に、各委員の皆様からG20に向けた事業をご提案いただき、たいへん心強く思っています。
- ・本番に向けて、皆様との具体的な調整や、広報へのご協力依頼などをしていただいておりますので、どうぞよろしく申し上げます。今日はありがとうございました。